



国土を整え、全力で備える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

広島港湾空港技術調査事務所

お知らせ

記者発表資料
配布日時

平成30年10月2日
14:00

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、港湾新聞社、日本海事新聞社、都市計画通信社

聴講参加者を募集！

～港湾に関する民間技術の第2回説明会～

広島港湾空港技術調査事務所は、中国地方の港湾工事、調査等で活用が期待される民間で開発された新技術について、情報収集や発信、また自己研鑽の場として、「民間技術説明会」を開催しています。

この度下記のとおり本年度2回目の開催が決定しましたので、聴講参加者を募集します。

記

1. 日 時 平成30年10月30日（火）13:30～16:30
2. 場 所 国土交通省 中国地方整備局
広島港湾・空港整備事務所 新庁舎5階会議室
広島市南区宇品海岸3-10-28
3. 紹介技術 技術①：NSカバープレート
技術②：航空レーザ測深（ALB）による水面下の3D計測
技術③：Dr. i-sensor
技術④：AAP膨張アンカー
技術⑤：SLJスラブ
技術⑥：イージーMモニター
4. 聴講申込み 電話又はFAXにてお申し込み下さい。（参加費無料）
※詳細は別紙「開催案内チラシ」をご参照下さい。
※FAXにてお申し込みいただく場合は、「開催案内チラシ」裏面の参加申込用紙に必要事項をご記入の上、当事務所宛に送信くださいますようお願いいたします
5. 取材申込み 講演会当日の取材をご希望の場合は、平成30年10月26日（金）15:00までに別添の取材申込書に必要事項をご記入の上、当事務所宛にFAXにて送信くださいますようお願いいたします。

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 広島港湾空港技術調査事務所 調査課

TEL: 082-250-1902 FAX: 082-250-1905

広島技調HP: <https://www.pa.cgr.mlit.go.jp/gicyo>

【担当】 副所長 君島伸治
技術開発係長 きたうらなおこ
北浦直子

広島技調

検索



国土を整え、全力で備える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

中国地方整備局

広島港湾空港技術調査事務所

調査課 宛て

F A X 0 8 2 - 2 5 0 - 1 9 0 5

平成30年度第2回 民間技術説明会 取材申込書

平成30年10月 日

所 属 名	
氏 名	ふりがな
連 絡 先	T E L
	F A X
	メール

平成30年度 第2回 民間技術説明会

10/30

13:30～16:30
(13:15受付開始)



中国地方整備局
広島港湾・空港整備事務所新庁舎 5階会議室
広島市南区宇品海岸3丁目10-28



紹介技術

- ・防食機能付き橋梁常設足場「NSカバープレート」
- ・航空レーザ測深（ALB）による水面下の3D計測
- ・CCTVカメラ等を用いた河川水位観測システム「Dr.i-sensor」
- ・新機構の高強度金属系アンカー「AAP膨張アンカー」
- ・施工性に優れた港湾栈橋用プレキャスト床版「SLJスラブ」
- ・コンクリート構造物内の鋼材の防食状況をモニタリング「イージーMモニター」

参加費
無料

定員
40名

主催

中国地方整備局 広島港湾空港技術調査事務所

共催

公益社団法人 土木学会 中国支部

土木学会継続教育（CPD）プログラム認定 JSCE18-1061 [単位数：2.8単位]



お申し込み方法

広島港湾空港技術調査事務所宛に
電話 または FAX にて、参加希望者の
氏名・連絡先をお申し込み下さい。

(FAXでお申し込みいただく際は、
裏面の申込用紙をご利用下さい。)

お問い合わせ先

広島港湾空港技術調査事務所 調査課
〒734-0011
広島市南区宇品海岸3-10-28 4階
(広島港湾・空港整備事務所と同じ建物内にあります)

TEL ☎ 082-250-1902

FAX ☎ 082-250-1905

URL <http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/gicyo>

広島技調

検索

平成30年度 第2回民間技術説明会

民間技術説明会とは？

中国地方の港湾工事、調査等で活用が期待される民間等で開発された新技術について、情報収集や発信の場として、毎年数回技術説明会を開催しており、企業や他省庁の方など多数ご参加いただいております。

本技術説明会は、土木学会継続教育（CPD）プログラムに認定されておりますので技術力の向上や効率的な事業展開につなげる場としてもご利用いただけます。参加費無料でどなたでも参加して頂けますので、この機会にぜひご参加下さい。

なお、本技術説明会で紹介する新技術を随時募集していますので、詳細はHPをご覧ください。

技術概要

「NSカバープレート」 〔新日鉄住金エンジニアリング株式会社〕

- ・耐食性金属からなるサンドイッチパネルと支持材を組み合わせた橋梁用外装材。
- ・橋梁上部工等を覆うことで腐食から守り、長寿命化を図る技術。常設足場としても活用可能で橋梁の維持管理を行い易くする技術としても期待できる。

「航空レーザ測深（ALB） による水面下の3D計測」 〔国際航業株式会社〕

- ・水中部を透過するグリーンレーザー、ナローマルチビーム及び陸上用航空レーザーによるデータと組み合わせて陸上から海底までの連続的な標高データを取得する技術。

「Dr.i-sensor」 〔いであ株式会社〕

- ・空間監視等の目的で設置されているCCTVカメラ等の画像を有効活用し、水位(潮位)等の外力条件と現地状況(映像)を同時かつリアルタイムに計測・監視できるシステム。
- ・出水後の海域ゴミ回収の効率化や海象情報の取得(波浪・越波等)、施設被害や事故等の自動検知への活用が期待できる。

「AAP膨張アンカー」 〔株式会社豊和〕

- ・穿孔穴に挿入するだけで強度を発揮し、孔壁に固着する金属系アンカーの技術。
- ・接着材を用いないため、硬化時間が不要で接着系アンカーと同等の耐力を発現する。
- ・防舷材取替等で工程短縮が期待できる。

「SL」スラブ」 〔オリエンタル白石株式会社〕

- ・ジャケット式栈橋等にプレキャスト床版を用いる場合、床版同士の接合部には、ループ継手または重ね継手が用いられる。
- ・この工法は、プレキャスト床版の接合部にエンドバンド継手を用いることで、継手部の施工性が向上し、床版厚を薄くできる技術。

「イージーMモニター」 〔株式会社ニューテック康和〕

- ・既設コンクリート構造物の塩害劣化に対する有力な補修工法である電気防食工法のモニタリングにあたって、コンクリート構造物に予め専用の遠隔監視、計測、主電源の各ユニットを設け、FOMA回線にてデータを送信することで、コンクリート構造物の腐食・防食状態をモバイルで遠隔監視するシステム。
- ・現地での点検作業が不要なことから省人化となり、安全に監視が可能。

平成30年度 第2回民間技術説明会 FAX申込用紙

ふりがな 氏名	住所 または 所属会社名	電話番号

FAX ☎ 082-250-1905（個人情報、本説明会の開催目的以外には使用しません）

申込み多数の場合、早期に募集を締め切ることがありますのでご了承下さい（広島技調HP上にてご案内いたします）。